

地域情報

(一社) 熊本県野菜振興協会菊池支部

「菊池水田ごぼう」の長期出荷体制を目指して

「菊池水田ごぼう」※1は、平成31年に地理的表示(GI)※2の登録を受け、菊池地域の主要なブランド農産物として、更なる消費拡大、生産拡大が期待されています。

水稻の裏作期間を利用して栽培される水田ごぼうは、田植え後の7月から10月の稲刈りまでは栽培出来ませんが、ここ数年、市場からその間も出荷を望む声が寄せられていました。

そこで菊池支部では、貯蔵による出荷期間延長について、令和2年度より継続して貯蔵試験に取り組み、貯蔵可能期間、最適貯蔵温度、梱包資材について検討してきました。

本年度は実用化を目指し、6月に収穫したゴボウを泥付きのまま1~2カ月間冷蔵貯蔵し、順次出庫後、洗浄・あく抜き・箱詰め等の出荷調整をして出荷しました。着荷状況の調査や実際の市場評価を行ったところ、8月中旬までは概ね問題なく出荷できることがわかりました。

一方で、出庫後の出荷調整時に長く常温にさらされると痛みが発生する等の課題も明らかとなり、一度に出庫する量についても検討する必要が見えてきました。

今後も、長期出荷体制構築の実現に向けて具体的な協議をしながら取り組んでいきます。

※1 菊池水田ごぼう：水田で栽培するゴボウ。現在93戸145haで栽培。

一般的な畑ごぼうと比べ肌が白く柔らかであくが少ない。

※2 地理的表示(GI)：産地と品質の結びつきを示す農林水産物等の名称。

保護制度により登録されると名称が知的財産として保護される。



菊池水田ゴボウ



冷蔵庫での貯蔵